

ひよどり台防災ジュニアチーム

北区

チーム情報

1 結成年

2001年（平成13年 防コミ発足） ⇒ 2002年（平成14年 ジュニアチーム発足）

2 チーム人数

鶴台中学校（1年生～3年生全員） 192名（令和8年5月 現在） ※現在は小学生の募集休止中

3 関係する防災福祉コミュニティ

ひよどり台防災福祉コミュニティ

4 活動概要

・6月から翌年3月まで「原則毎月1回訓練・研修」を実施。指導には防災福祉コミュニティ（自主防災防災組織）役員及び学校関係者並びに消防署員が携わっており、活動内容は、防災などの学習や訓練を行うほか地域の活性化（イベント）支援、防犯・福祉活動などのお手伝いも行い地域の「自助・共助・ご近所」の普及に努めています。

・平成27年3月兵庫県知事より阪神淡路大震災20年フォーラムにて防災・減災活動実績により感謝状を受ける。

・平成30年3月消防庁長官より[優良少年消防クラブ表彰]を受ける。

・令和2年3月総務大臣より[特に優良な少年消防クラブ表彰]を受ける。

令和7年度 主な活動内容

6月：ジュニア防災任命式、7月：規律、初期消火訓練、8月：夏祭り開催支援、9月：認知症サポート研修

11月：BE BOSAI～未来の防災リーダーの集い参加、12月：ひよどり台総合防災訓練（障害者施設合同訓練）

5 意気込み

活動も当初は防コミの活動を支援する取組みでしたが、参加する子供たちからの意見も聞きつつ、順次改善していきました。現在では年間の活動計画が当初に計画され、また、学校の理解もあり定期的な活動になっています。主な活動は、「消防技術を養う」、「地域行事の輪に入る」、「オレンジリング（災害時要援護者支援を目的に実施されている認知症サポーター養成研修受講の証）を取得し、お年寄を見守る」などの内容です。また、近年では消防局より声をかけていただき「JICA研修のお手伝い」や「防災を考えるつどい」そして「消防出初式への参加」などの特別メニューにも参加し、幅を持たせた活動をしています。今後も活動の工夫をしながら、子供たちの成長を見守っていききたいと思います。

活動写真

